

土木業のみなさまへ



お申し込みからの流れ

Step 01 お申し込み

事業サイトよりお申込みください。



Step 02 事業説明・現状ヒアリング

担当が本事業についてご説明のうえ、現状について伺わせていただきます。

Step 03 ナビゲーターによる支援(最大5回)

認定ナビゲーターによる伴走型支援で、デジタル診断や経営課題・業務課題の整理、簡易的な業務の棚卸を行います。

Step 04 簡易提案書の作成・報告

デジタル化への取り組み状況に応じた簡易提案書を作成・報告します。経営課題解決に向けて、デジタル化への一歩を踏み出しましょう!

土木業におけるデジタル化成功事例

ICT測量機を活用し、生産性が向上

ベテランには従来通りのやり方で仕事に取り組んでもらう一方、30代の若手社員を指名して、実際にICT測量機を使い続けるよう指示した。若手社員がICT測量機の扱いに慣れ始めると、社内の雰囲気はガラリと変わった。現在では4台のICT測量機を順次導入して活用している。

3Dの点群データを活用して業務効率化

2017年に、データ加工や断面作成、長さ、高さ、土量の計算を自在に行えるシステムを導入した。「導入当初は難しかったですが、システムを使い慣れた今ではこれほど便利なものはないと思っています。自治体などに提出する資料も効率よく作成することができます」と、点群データを扱う設計担当者は説明した。また、現場監督の担当者は「現場の手間が減ったのは本当に助かります。今後、社会のデジタル化が進んでいくと活用機会がさらに広がるのではないかと楽しみにしています」と話した。

お問い合わせはこち

都内中小企業向けデジタル技術導入促進ナビゲーター事業

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-22-2 新宿サンエービル6F

0120-056-003

✉ ADE.JP.degi-navi@jp.adecco.com

受付時間: 平日10:00~17:00
(土・日・祝日、年末年始を除く)

<https://tokyo-diginavi.metro.tokyo.lg.jp>

東京都 デジナビ

検索

※本事業は、東京都より委託を受けアデコ株式会社が運営しています。



デジタル化で見える 課題解決のビジョン

経営課題の解決に向けた取組をサポート

参加費
無料



TOKYO
デジナビ

事業期間

2023年5月22日(月)～2024年3月31日(日)

参加企業数が上限に達しましたら、受付終了とさせていただきます

なにができるの?「デジタル技術導入促進ナビゲーター事業」

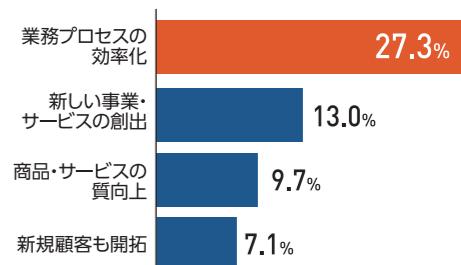
「デジタル化やIT活用といっても、どこから手をつけたら良いのかわからない」「生産性をあげたいが、どのように管理したらいいのかわからない」、そんなお悩みはありませんか?

認定ナビゲーターによる最大5回の伴走型支援を行うことで、会社の経営課題をデジタル化により解決することをサポートします。

具体的には、経営課題・業務課題・デジタル化への状況についてヒアリングを行い、業務課題を整理したうえで、簡易的な業務の棚卸を行い、各企業のデジタル化への取り組み状況に応じた簡易提案書を作成・報告します。

※東京都や国の助成金・補助金のご案内をしますが、助成の確約をするものではありません。

Q | デジタル化の取組にあたり重視している項目
デジタル化の取組にあたり重視している項目 N=4,739



(出典:令和2年度中小企業のデジタル化に関する調査/中小企業庁)

募集対象

都内に事業所を置く中小企業等

※詳しくはお問い合わせください。

<https://tokyo-diginavi.metro.tokyo.lg.jp>

建設業(土木)のお仕事 業務における関心事・お困り事をお聞かせください

お客様の関心事・お困り事

お客様の生産性向上に繋がる解決策(建設・土木編)

営業・積算

〈積算〉 (入札) 〈受注〉 (落札)

- 表計算ソフトだけでは積算に時間がかかり落札確度の高い見積書を作成できない

→ 解決①

- 専任のベテラン社員が積算をしているので経験の浅い社員を育てたい

→ 解決①

施工

〈施工計画〉

〈実行予算〉

〈施工管理〉 (安全管理・工程管理・原価管理・品質管理)

〈完成・検査〉

基幹・経営

- 施工体制台帳の作成で協力会社の資格証や免許証等の書類集めに手間がかかっている

→ 解決②

- 現場から帰社後の写真整理と仕分け作業に時間がかかり、他の仕事がなかなかできない

→ 解決③

- 日報から出面を集計して工事台帳の作成に手間がかかる

→ 解決④

- 工事中の原価を可視化し、損益を確認しておきたい

→ 解決⑤

- 出来形管理などの書類作成は現場監督に依存しているので品質に差があると感じている

→ 解決⑥

- 安全対策の連絡や指示が職人さんに正しく伝わらない事がある

→ 解決⑦

- 有給休暇や長時間労働の管理など法改正に向けた対策が必要

→ 解決⑧

- 求職者がなかなか集まらず工期や品質に影響がある

→ 解決⑨

- 財務状況をリアルタイムに確認できていない

→ 解決⑩

解決① 積算業務時間の短縮

- 積算のシミュレーションが簡単にでき、精度の高い見積書を作成することができます



解決② 施工書類作成の効率化

- 施工体制台帳の作成・管理を電子化・システム化し、業務負担を軽減します



解決③ 写真管理の負荷軽減

- 写真撮影時に工事情報をつけることができるで自動仕分けができ、帰社後の作業時間が減らせます



解決④ 日報作成業務の効率化

- クラウド活用でどこからでも日報入力・報告が可能。社内業務連携により業務効率化を支援いたします



解決⑤ 確実な利益確保

- 工事原価管理から全社利益管理まで建設業の経営と業務をトータルサポート。進捗の把握や利益の見える化ができます



解決⑥ 施工管理業務の効率化

- 計測したデータを活用し、現場写真・出来形など報告書類を効率よく作成・管理できます



解決⑦ 災害リスク最小化支援

- 入札や法律の対応を含め日々の安全教育を強力にサポートします
- 総合評価方式や労働安全衛生法も意識し業務を効率化できます



解決⑧ 勤怠管理対策と業務効率化

- 労働時間管理に関わる業務全体の効率化により、お客様の生産性向上をご支援いたします



解決⑨ 広報力の強化

- ホームページで施工情報など、会社の実績に加え、社風なども求職者にアピールすることができます



解決⑩ 会計業務の効率化

- 財務状況を即座に把握し、迅速な経営診断が可能です
- 「原価情報」を「会計業務」にも生かすことができます

